

ソシヤル ワーカーって どんな人？



すべての人を思い・考え・ともに歩んでいく

人と社会の役に立ちたいと思う

よりよい社会のために社会の仕組みや制度を変えていく

私たち人は、生まれてから死ぬまでの生活において、さまざまな困難に向き合わなければならない時がくる。そして個人の努力だけでは乗り越えられない困難もあるかもしれない。そのようなとき、その人に寄り添い、ともに困難を乗り越え、そっと背中を押してあげられるような人になりたい。



ソーシャルワーク (SOCIAL WORK)

社会は私たちソーシャルワーカーを必要としている

ソーシャルワークとは、人々と環境とその相互作用する接点に働きかけ、すべての人々の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を実現し、**ウェルビーイング** (幸福) の状態を高めることを目指していくことです。

近年、福祉ニーズの変化等に伴い、ソーシャルワーカーの活躍の場は、高齢者支援、障がい者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などの様々な分野に広がってきています。今まさにソーシャルワーク専門職が行うソーシャルワークに対する期待は大きくなっています。

日本におけるソーシャルワークは、独自の文化や制度に欧米から学んだソーシャルワークを融合させて発展してきました。現在の日本の社会は、高度な科学技術を有し、めざましい経済発展を遂げた一方で、世界に先駆けて少子高齢社会を経験し、個人・家族から政治・経済にいたる多様な課題に向き合っています。また日本に暮らす人々は、伝統的に自然環境との調和を志向してきましたが、多発する自然災害や環境破壊へのさらなる対応が求められています。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の日本における展開」(2017年6月)

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。ソーシャルワークの理論、社会学科、人文学、および地域・民族固有の知を基礎として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」(2014年7月)

別府リハビリテーション
センター

矢坂 侑貴 さん



① 仕事内容

当センターは回復期リハビリテーション病棟であり、主に脳梗塞等の頭の病気や骨折等をした患者さんがリハビリをする専門の病院です。

ソーシャルワーカーは、患者・家族を中心に、医師、看護師、介護福祉士やリハビリ専門職等と一緒にチームの一員として支援しています。患者さんやご家族が希望する生活を安心して送られるように相談対応等支援しています。

② 今の仕事を選んだきっかけ

大学で社会福祉士という資格を知りました。患者さんだけでなく、家族等の患者さんを取りまく環境にも働きかけていく医療ソーシャルワーカーに興味を持ったことがきっかけです。

③ やりがい、大切にしていること

大切にしていることは、患者さんやご家族の思いや希望をなるべく正確に汲むことを意識しています。

また、たくさんの職種や関係機関と関わるため、相手の立場を理解しようとする姿勢も大切にしていきたいと思っています。

④ 今後の目標や夢

働き始めて6年目になり、仕事に慣れてきた面はあるものの、まだまだ知らないことやわからないことが多いため、学び続けていきたいです。また、患者さんやご家族、関わる方々に対して、誠実さを持ち続けることのできるソーシャルワーカーになりたいと思います。

⑤ メッセージ

医療ソーシャルワーカーはどんな経験も活かせる職業だと思います。自分がしてきた経験が、会話のきっかけになることもあれば、支援の中で患者さんの生活そのも

のに変化をもたらすこともあるかもしれません。同じ経験をしても感じ方は人それぞれなので、経験がなくても、この人はこういう経験をしたんだな、こう感じるんだな、と寄り添う意識が一步目になると考えます。興味がある方はぜひ調べてみてください。



矢坂さんの仕事のある1日の流れ

- 8:20 ● 業務開始・記録の確認
- 8:30 ● 病棟で申し送り
- 8:35 ● 地域連携室申し送り
- 9:10 ● カンファレンス
- 10:00 ● 退院調整会議
- 10:30 ● 電話連絡
- 11:00 ● 入院時面接、カンファレンス
- 12:20 ● 休憩
- 13:20 ● リハビリ見学同席
- 14:30 ● 主治医の病状説明に同席
- 15:30 ● 自宅訪問同行
- 17:00 ● 帰院・記録
- 17:20 ● 業務終了



別府大学

今尾 顕太郎 さん



1 仕事内容

私の仕事は、ソーシャルワーカーを目指す学生たちに、必要な知識とスキルを教え、実践的な指導を通して将来の支援者としての基盤を築いてもらうことです。講義や演習を通して理論や技術を教えるだけでなく、学生一人ひとりと向き合い、社会福祉に対する姿勢や考え方の成長もサポートしています。また、研究活動を通じて、福祉の現場に新しい知見を提供し、ソーシャルワークの発展に貢献することも私の大切な役割です。

2 今の仕事を選んだきっかけ

現場での実務経験を積む中で、ソーシャルワークの仕事の意義を深く実感しました。そして、次世代の支援者たちを育てることで、広く社会に貢献したいと考えるようになり、大学教員の道を志しました。学生時代の恩師が社会福祉の本質を教えてくれたように、私も学生にとっての「指針」となれる存在でありたいと願っています。

3 やりがい、大切にしていること

この仕事のやりがいは、何よりも学生たちが学び、成長していく姿を見ることです。授業で新しい概念を理解したり、実習で実際の現場に触れることで、彼らの視野が広がり、支援者としての意識が深まっていく瞬間に立ち会えることは、私にとって大きな喜びです。また、学生と一緒に課題に取り組む際には、彼らの考え方を尊重し、自主的な学びを促すことを大切にしています。

4 今後の目標や夢

今後の目標は、より多くの学生が実際の現場で活躍できるように、実践的な教育をさらに充実させることです。特に、AIやICT技術を活用した面接訓練システムの開発にも注力し、学生が現場で求められるスキルを効率的に習得できるような教育環境を整備していきたいと考えています。また、学生や卒業生がソーシャルワーカーとして

成長し続けられるようなネットワークを構築し、支援の輪を広げていくことが私の夢です。

5 メッセージ

福祉の現場で必要とされる知識と技術を学び、人々の生活を支える一助となるソーシャルワーカーの道は、やりがいと充実感に満ちたものです。困難な時もありますが、それを乗り越えた先に多くの人とのつながりや感動が待っています。皆さんが一步踏み出すことを心から応援しています。未来の仲間として、ともに社会に貢献できることを楽しみにしています。



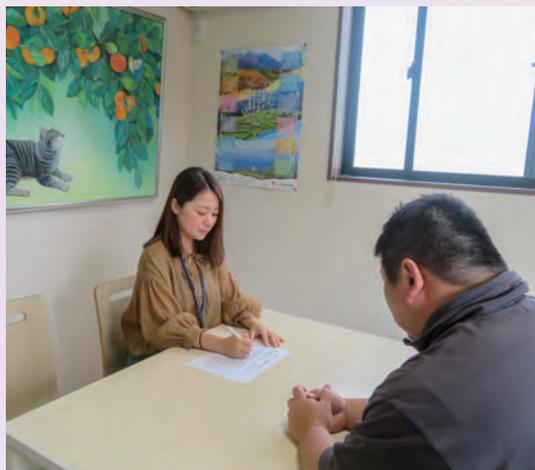
今尾さんの仕事のある1日の流れ

- 7:30 ● 出勤、当日の講義準備、事務処理
- 9:00 ● 会議
- 10:40 ● ソーシャルワーク実習指導
- 12:10 ● 昼休み、午後の講義の準備
- 13:00 ● 社会福祉の原理と政策
- 14:40 ● ソーシャルワーク演習Ⅴ
- 16:20 ● 社会保障Ⅱ
- 17:50 ● 提出物の確認、採点、卒論指導の準備
- 18:30 ● 退勤



株式会社CFC
ワークプレイスbホープ

國松 裕香 さん



1 仕事内容

就労継続支援B型事業所は、心や身体の障害により一般企業で働くことが難しい人に対して、就労や生産活動の機会を提供する場所です。利用者さん一人ひとりに対してどのような支援が必要か見極めて、困りごとを共有したり、自立や社会参加を促すような関りをもったりしています。私の職場では、内職・スキルアップを目的とした教室の開催・クッキーづくり・保護猫のお世話などを行っています。



2 今の仕事を選んだきっかけ

高校生時代に親の仕事関係で知った“ソーシャルワーカー”に興味を持ち、ボランティア経験をしました。大学では福祉を学び、資格を取り、その後は病院の相談員として働いてきました。次第に退院した後の患者さんの生活や病気を抱える方の就労をサポートしたいと思い、今の仕事に就いています。

3 やりがい、大切にしていること

利用者さんが作業を頑張っていたり、目標に向かって自立していく姿をみると嬉しくなります。普段から『困った

ときに相談しやすいような関係作り』や『いきいきと働けるような作業所の雰囲気づくり』を大事にしています。

4 今後の目標や夢

まだまだ知識や経験が浅く、未熟なところも多々ありますが、利用者さん1人1人と向き合って信頼されるソーシャルワーカーになりたいです。

5 メッセージ

福祉の仕事は人の人生に深く関わる仕事です。責任が大きい大変なことも多いですが、その分やりがいを感じる瞬間がたくさんあります。皆さんと一緒に仕事をする日を楽しみにしています。

國松さんの仕事のある1日の流れ

- 8:00 ● 出勤
- 8:15 ● 利用者送迎
- 9:30 ● 朝のミーティング
- 9:50 ● 外出(納品)
- 12:00 ● 昼休憩
- 12:50 ● 内職作業の指示・検品、記録など
- 14:00 ● 利用者面談
- 15:00 ● 帰りのミーティング
- 15:15 ● 翌日の準備、記録の確認、Instagram投稿・minne(ネットショップ)確認など
- 16:30 ● ネコのお世話
- 17:00 ● 退勤



医療法人 明和会
佐藤病院

濱田 航介 さん



1 仕事内容



精神科病院の相談員として、外来受診や入院に関する相談を受けたり、退院先の調整を行ったりする相談業務を中心に行っています。障害年金や生活保護といった制度についての相談もあるため、手続きのお手伝いや、書類の作成なども行っています。

2 今の仕事を選んだきっかけ

大学卒業後は医療も福祉も全く関係ない一般企業に勤めていました。職場の同僚が精神的に病んでしまい、そのことを知り合いのソーシャルワーカーに相談したことをきっかけに興味を持つようになりました。心の病気や障害というものが自分の思っていた以上に身近なものであるということに気付き、困っている人の力になれるような仕事をしてみたいという思いから、専門学校に入学しました。

3 やりがい、大切にしていること

「話してみですっきりしました」「いろいろ聞いてくれてありがとう」と言ってもらえたり、自分がかかわった人の生活が少しでも良い方向に向かった時にやりがいを感じます。どのように支援すればいいか見当もつかないくらい困難なケースもありますが、いろいろな人の力を借りながら、問題を解決したり状況を改善できた時には「やってよかった！」と達成感を感じることができます。

そのために、人とのつながりや関係性を大切にしています。ソーシャルワーカーは一人で出来ることは限られているため、患者様とはもちろん、支援の輪に入ってくれる人たちとの関係性を大切にすることが、より良い支援につながると考えています。

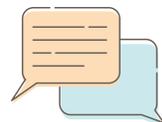
4 今後の目標や夢

ソーシャルワーカーとしての経験がまだまだ浅い為、病気についての知識や福祉の制度だけでなく、身の周りの社会資源についても知識をつけていきたいです。いろいろな人とのつながりを増やしながらか、「頼りになる!」と言ってもらえるソーシャルワーカーになりたいと思っています。

5 メッセージ

ソーシャルワーカーとしての関わりを通して、その人の生い立ちや人となりを知ることが出来るのは、この仕事の大きな魅力だと思います。

また、支援を考えていく中で様々な人とつながることは自分の人生も豊かにしてくれます。少しでも興味を持ってもらえると嬉しいです。



濱田さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤
- 9:00 ● 電話相談対応
- 9:30 ● 書類作成
- 10:30 ● 面談
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 入院対応
- 15:00 ● 電話相談対応
- 16:00 ● 相談内容の記録、書類作成
- 17:00 ● 退勤



大分市役所
大分市福祉事務所
子育て支援課

堀 理子 さん



1 仕事内容

大分市では、4人の社会福祉士がひとり親家庭を対象とした相談対応をする自立支援員として、子育て支援課に勤務しています。離婚前相談に始まり、離婚後のひとり親支援制度の申請や、就労に繋がる支援、ひとり親家庭のお子さんの進学支援としての福祉資金の貸付業務等を行っています。



困りごとを抱えたひとり親の方に寄り添い、自立に向けての支援全般を担う専門職です。

2 今の仕事を選んだきっかけ

精神や発達障がいに関わる中で、子どもの発達障がい支援の充実には、まず親御さんの支援が大切な事に気づき、行政の中で直接支援に繋げる役割を担える自立支援員として、自分のスキルを活かしたいと考えました。

3 やりがい、大切にしていること

悩みを抱えながら窓口に相談に来てくれたひとり親の方々の気持ちに寄り添うことをまずは大切にしています。

悩みをお聞きするうちに、その人の本来の力や本当の気持ちに近づけたとき、何かしらの形に支援が動いた時、暗かった相談者の表情が明るく変わった時、やっつけて良かったとその都度こちらも元気を頂いています。

4 今後の目標や夢

ひとり親家庭が置き去りにされない支援の輪を今以上に広げて行くことです。

日々の仕事だけでなく、常に新しい情報を取り入れる

努力をし、周りと協働しながら誰もが住みやすいまちづくりに関わりたいと思っています。

5 メッセージ

ソーシャルワーカーは、人と人を繋ぐスペシャリストです。対人支援は難しさもありますが、色々な人と関わることで、多種多様な生き方を知ることが出来て、多くの経験を得ることもできます。そのスキルを活かして相談者の未来に関わる希望の種を見つける大切な役割をソーシャルワーカーは担っています。



人を笑顔にできる素敵な仕事でもあります。人の痛みに寄り添い、支えることで私たち自身の心も成長していく。そんな素敵なソーシャルワーカーが沢山生まれることを願っています。

堀さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤・朝礼
- 9:00 ● 前日の職務日誌の確認、窓口相談対応
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 窓口相談対応、貸付業務、事務作業、電話での相談対応
- 16:30 ● 本日の対応記録作成
- 17:15 ● 退勤



地域貢献活動として
こんな活動もしています



mamma project



まちでらづくり

竹田市社会福祉協議会
高野 初輝 さん



1 仕事内容

竹田市社会福祉協議会（以下、社協）は、住民一人ひとりの暮らし、生きがい、地域を共に創っていく社会を目指しています。具体的には、地域住民による支え合い活動や居場所づくり等への支援（地域づくり活動）、高齢者や困窮等の生活課題への支援（様々な相談への対応）、その他、デイサービス等の介護保険事業や、保育所の運営等、幅広く活動しています。



を定期的に行っています。被災した家の片付け等に助を求めている方と、そのお手伝いを希望するボランティアさんとのマッチングが主な役割です。地震や豪雨等、いつでもどこでも災害が起こる今、これから益々必要性の高い重要な役割だと思っています。

2 今の仕事を選んだきっかけ

社協では、住民一人ひとりはもちろん、自治会、福祉事業所、病院、行政等の関係機関だけでなく、時には商店や企業等とも繋がりを持ちながら地域福祉を展開します。机に座りっぱなしではなく、いつも地域に向向いて、様々な人、場所を訪れるため、数々の素敵な出会いがあります。

学生時代の現場実習でこれを知り、社協で働きたいと思いました。

3 やりがい、大切にしていること

例えば相談支援を通じ、お金がない、住環境が良くない等、苦しみの中で生活している方に寄り添い、地域、医療、福祉等との繋がりをつくりながら、尊厳のある生活が回復した時などは、何より喜びを感じます。

その為にも、どのような相談でも断ることなく、快く受け止め、まずはじっくりとその思いを受け止める、ということを大切にしています。

4 今後の目標や夢

社協では、「災害ボランティアセンター」の運営訓練

5 メッセージ

大分県には、災害派遣福祉チーム「大分D-WAT（でいーわっと）」があります。大規模災害発生時、一般避難所における高齢者、障がい者等の要配慮者のサポートを行う福祉の専門職チームです。県内の福祉施設等約50法人、約300人が登録しており、万が一に備えた支援体制の構築が進められています。社協の活動とあわせて、ぜひお見知りおきください。



高野さんの仕事のある1日の流れ

- 8:30 ● 出勤、ミーティング
- 9:00 ● 連絡調整（電話、訪問）
- 10:30 ● 相談支援（来所、訪問）
- 12:15 ● お昼休み
- 13:00 ● ケースカンファ／地域連携の為の会議
- 15:00 ● 相談支援（来所、訪問）
- 16:00 ● 記録、支援方針の検討
- 17:00 ● 退勤



中津市教育委員会
江藤 あゆみ さん



① 仕事内容

学校や児童生徒、ご家族、関係機関等からの相談を受け、面談や家庭訪問を行いながら一緒に困りごとの解決にあたるほか、福祉サービスの相談窓口や医療機関などの専門機関につなぎ、児童生徒のみなさんが安心して過ごすことができるようチームの一員として支える仕事です。

② 今の仕事を選んだきっかけ

以前、地域包括支援センターの社会福祉士として勤務していました。その中で、相談支援や地域のネットワーク構築に取り組むことにやりがいを感じ、高齢者の分野だけでなく、他分野での相談支援もやってみたい！と興味を持ったことがきっかけです。

③ やりがい、大切にしていること

不登校支援など、すぐに解決につながりにくいケースや、ヤングケアラー支援では関わりが持てるようになるまでに時間を要するケースもありますが、関わりを継続していくことで「今まで関わりが持てなかった保護者とつながることができた」、「週1日登校できるようになった」、「家庭の状況が安定し、子どもたちも学校で安定してきている」など、少しずつでも良い方向に向かっていくことが共有できた時にやりがいを感じます。1人ではなく、学校やご家族、関係機関と連携しながら支援することを心がけています。

④ 今後の目標や夢

どの分野に所属していても、その分野だけでは十分な支援が行えないことが多いと感じるので、他機関・多職種の方たちとのつながりを大切にしながら、自分自身も自己研鑽していきたいです。

⑤ メッセージ

私は進路選択する時に「ソーシャルワーカーになりたい！」と決めていたわけではありませんでした。でも、たくさんの人たちと関わる中で「相談して良かった」と言ってもらえたり、笑顔を見せてくれたりすることも多く、今はソーシャルワーカーを選んで良かったと思っています。これを読んで、少しでもソーシャルワーカーに興味を持つ方たちが増えたら嬉しいです。



江藤さんの仕事のある1日の流れ

- 9:00 ● 出勤／連絡調整、情報共有等
- 10:00 ● 重点配置校訪問／先生方との情報共有、児童との面談、授業観察等
- 12:30 ● 給食
- 13:00 ● 児童との面談、授業観察、ケース会議、サポート会議等
- 17:00 ● 退勤
(市教委に戻り連絡調整、記録作成等)



大分県立二豊学園
橋本 佳喜 さん



① 仕事内容

大分県内で唯一の児童自立支援施設「二豊学園」にて、児童自立支援専門員として、日々子ども達と起居を共にしながら、自立に向けて支援を行っています。現在私は男子寮寮長と野球部スタッフとして、主に男子児童の支援にあたっています。日頃の生活を共にし、退園後の生活を見据え、子ども一人一人と向き合いながら、児童相談所や関係機関、保護者などと連携しながら支援を行っています。



② 今の仕事を選んだきっかけ

大学を出た後、資格取得のため専門学校に通っていましたが、その時に縁があって一時保護所で夜間の舎監補助をさせていただくことになりました。その時出会った子ども達が、「先生、俺二豊に行くことになった」と言ってくるのが続き、その時初めて二豊学園を知りました。その年に保護所の職員の方から二豊学園の試験があるという話を聞き、退所した子ども達がどうなっているのかを見たいという好奇心もあり働いてみたいと思いました。

③ やりがい、大切にしていること

様々な課題を抱えた子ども達を迎え、その子ども達と向き合いながら、時には悩むことも多くありますが、それでも少しずつ成長する姿を見ると、やってよかったなと思います。日々子ども達と関わる中で大切にしていることは、「日頃を大切にし、当たり前を当たり前」と

いうことです。毎日の生活の安定を図り、当たり前前三食食べて、当たり前前に学校に行って、当たり前前に勉強して、当たり前前に怒られて、当たり前前に褒められ認められる、経験を当たり前前に積むことです。

④ 今後の目標や夢

1人でも多くの子ども達が生きやすい環境を整えてあげることです。二豊学園に来た子ども達が「ここに来てよかった」と思ってもらえるように、日々子ども達のために、愛情と情熱を持って支援を続けていくことです。

⑤ メッセージ

子どもの可能性は無限大。その可能性を引き出し、子ども達が笑顔で幸せに過ごせるような支援を一緒にしませんか？きつく苦しいこともあります、その分喜びや楽しみは大きいです。



橋本さんの仕事のある1日の流れ

- 13:15 ● 出勤、引き継ぎなど
- 15:30 ● 部活動（野球部）
- 18:15 ● 夕食
- 19:00 ● 学習指導
- 20:00 ● 夜のまとめの会
- 20:10 ● 個別面接（寮内児童とその日の振り返り）
- 21:00 ● 記録整理や職員間の振り返り
- 22:00 ● 勤務終了



『ソーシャルワーカーってどんな人？』 かんたん用語集

地域 連携室

病院に入院している患者や家族が入院中や退院し自宅に帰ったり転院する場合に、スムーズに生活が送れるように相談できる所で、そこにソーシャルワーカーが働いています。

退院 調整会議

病院を退院や転院する前に行う会議で、医師や看護師、ソーシャルワーカーや今までチームとなって支えていたメンバーで退院がいつごろできるか、次の支援のあり方などを考える会議です。

回復期リハビリ テーション病棟

病気やケガで治療が終わった後に、じっくりとリハビリをすることを目的とした病院等です。

就労継続支援 B型事業所

何らかの障がいを持っている方が働く1つの事業所です。一般的な企業には就職は無理でも、ご本人に障がいの程度に合わせて簡単な軽作業等を行って工賃を頂けるところです。大分県では約250か所あります。ちなみに1カ月の平均工賃は月に約2万円です。

障害年金

障がい者が20歳以上になったら、障がいを理由に自ら働くことが難しい場合に、申請により年金が支給されます。障害基礎年金には1級と2級の区分があり、1級は年間で約100万円、2級は年間で約82万となっています(個別に金額は違います)。

生活保護

日本に住んでいる方で生活に困ってどうもならない場合に、申請によって生活をまもる制度です。日本における最後のセーフティネット(最後のとりで)と言われています。個々の世帯ごとに支援する内容や給付する金額は変わります。

社会福祉 協議会

大分では、大分県社会福祉協議会と各市町村に社会福祉協議会が1カ所あります。主に地域の中にある生活課題を住民の方や行政と協力しながら一緒になって解決する活動を行う団体です。

大分 DWAT

大規模災害時に、避難所等で、高齢者や障がい者等の特に配慮を要する方に対して、福祉・介護の困りをひろって、その場で支援等を行う、福祉支援の専門チームです。福祉専門職(社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等)の5名程度が1チームとなって活動を行います。大分県では、平成30年12月に発足しました。

重点 配置校

教育委員会等がスクールソーシャルワーカーにあらかじめ、サポートして欲しい学校を決めてそこで勤務する小中高等学校です。各市町村によって、サポートする小中高等学校や勤務のスタイルは違います。

ソーシャルワークとはみんなが**幸せ**に
楽しく生きることができるように**社会**に向き合い、
困難な状況にある人に寄り添う仕事です。

発行

大分県社会福祉士会

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番41号
大分県総合社会福祉会館2F
TEL：097-576-7071 FAX：097-576-7071

公式HP



大分県医療ソーシャルワーカー協会

〒879-2401 大分県津久見市千怒6011番地
(津久見市医師会立津久見中央病院内)
TEL：0972-82-1123 FAX：0972-82-8411

公式HP



大分県精神保健福祉士協会

〒870-1111 大分市上判田3433番地
(衛藤病院内)
TEL：097-597-0093 FAX：097-597-6231

公式HP

